

# 日田市立東溪中学校

## 学力向上プランの概要(平成30年度)

### I 生徒の課題

#### ■ 1. 学習状況について

学力調査の質問紙の結果から、学校の勉強でわからないことがあったときに、そのままにしてしまう生徒はあまりおらず、先生に聞いたり、自分で調べたりして解決できている。家庭学習にはほとんどの生徒が熱心に取り組んでいるが、ある一定の生徒が取り組めていない。また学年が上がるにつれて学力差の開きが大きくなる傾向にある。また、「読書が好き」と答える生徒の割合は多い。昼休み等、図書室を利用している生徒は少なくないが、利用する生徒は固定化している。このような状況が、読解力や表現力の不足につながっていると考えられる。

### II 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

#### ■ 1. 授業改善テーマ 読解力と表現力(書く力)の育成

#### ■ 2. 授業改善の重点(研究主題)

言葉や図を用いて自分の考えを書く授業の推進

#### ■ 3. 取組内容

- ・自力解決の場面で自分の考えを書かせる。
- ・自分の考えを小集団や全体で説明しあう。

#### ■ 4. 取組指標

- ・授業者は、生徒が自分の考えを書き表す場面で、書けていない生徒に問題解決に適した言葉や図などを提示する。単元に2回以上、ペアや班で考えを説明しあう活動を仕組み、まとめの段階では全体で考えを説明しあう活動を設定する。

#### ■ 5. 検証指標

- ・アンケート意識調査(7月)「言葉や図を活用し、自分の考えを書くことができた。」と回答する生徒を85%以上にする。
- ・定期テスト記述問題5教科平均85%以上にする。

#### ■ 6. 検証(成果・課題)

- ・アンケート意識調査(7月)「言葉や図を活用し、自分の考えを書くことができた。」と回答する生徒は90%以上。
- ・定期テスト記述問題5教科平均77%以上。

### III 補充学習の取組(目標達成に向けた組織的な学習指導)

#### ■ 1. 重点的取組

わかる授業につながる学力層に応じたきめ細かい補習、振り返り学習に取り組む

#### ■ 2. 取組指標

朝・放課後学習を毎日計25分間設定し、確認テストを学期に2回以上実施する。全教職員で取り組み、毎月内容の見直しを図る。

### IV 家庭学習の取組(目標達成に向けた組織的な学習指導)

#### ■ 1. 重点的取組

学校と家庭で、夜9時以降は家庭学習に集中する環境づくりに取り組む

#### ■ 2. 取組指標

家庭学習に集中するためのルール作りを生徒指導部・生活委員会とタイアップして行い、状況調査・家庭への協力依頼を学期に2回以上行う。

### V 学校・家庭・地域の協働の取組

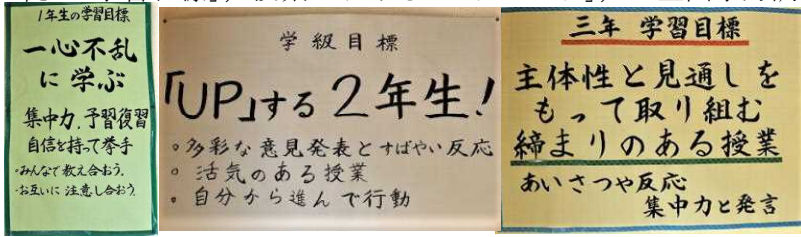
子どもの家庭学習の状況を見守るとともに、学級通信を活用しながら、学習意欲をはぐくむ声かけを行う。(月2回以上)

# 具体的な学力向上の取り組み

## I 授業改善

### ■ 1. 校内研修

生徒の「学習目標」、授業における「ふりかえり」、全国学力調査、道徳など



### ■ 2. 授業活性化旬間(互見授業) 6月10日～21日

授業観察シートに基づく授業観察と還流(交流)

### ■ 3. 研究授業

(1) 2年・数学科



(2) 2年・道徳科



## II 補充学習

### ■ 1. 朝読書・朝自習

10分間(読書・国語・数学・英語)

### ■ 2. ST(ステップ・タイム):教科担任による学習タイム

15分間(国語, 社会, 数学, 理科, 英語)

## III 家庭との協働

### ■ 1. 作文・反省文などへの講評のお願い



### ■ 2. ノーメディアの取り組み

# 日田市立東溪中学校

## 学力向上プランの概要(平成31年度)

### I 生徒の課題

---

#### ■ 1. 学習状況について

学力調査の質問紙の結果から、学校の勉強でわからないことがあったときに、そのままにしてしまう生徒はあまりおらず、先生に聞いたり、自分で調べたりして解決できている。家庭学習にはほとんどの生徒が熱心に取り組んでいるが、ある一定の生徒が取り組めていない。また学年が上がるにつれて学力差の開きが大きくなる傾向にある。また、「読書が好き」と答える生徒の割合は多い。昼休み等、図書室を利用している生徒は少なくないが、多種多様な文章に触れるチャンスが少ない。このような状況が、読解力や表現力の不足につながっていると考えられる。

### II 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

---

#### ■ 1. 授業改善テーマ 読解力と表現力(書く力)の育成

#### ■ 2. 授業改善の重点(研究主題)

自分の考えを説明する力を育む授業の工夫・改善 ～書き表す活動を通して～

#### ■ 3. 取組内容(1学期)

- ・自力解決の場面で自分の考えを書かせる。
- ・自分の考えを小集団や全体で説明しあう。

#### ■ 4. 取組指標(1学期)

- ・授業者は、生徒が自分の考えを書き表す場面で、書けていない生徒に問題解決に適した言葉や図などを提示する。単元に2回以上、ペアや班で考えを説明しあう活動を仕組み、まとめの段階では全体で考えを説明しあう活動を設定する。

#### ■ 5. 検証指標(1学期)

- ・アンケート意識調査(7月)「言葉や図を活用し、自分の考えを書くことができた。」と回答する生徒を80%以上にする。
- ・定期テスト記述問題5教科平均75%以上にする。

#### ■ 6. 検証(成果・課題)(1学期)

- ・アンケート意識調査(7月)「言葉や図を活用し、自分の考えを書くことができた。」と回答する生徒は85%以上。
- ・定期テスト記述問題5教科平均85%以上。

### III 補充学習の取組(目標達成に向けた組織的な学習指導)

---

#### ■ 1. 重点的取組(1学期)

わかる授業につながる学力層に応じたきめ細かい補習、振り返り学習に取り組む

#### ■ 2. 取組指標(1学期)

朝・放課後学習を毎日計25分間設定し、確認テストを学期に2回以上実施する。全教職員で取り組み、毎月内容の見直しを図る。

### IV 家庭学習の取組(目標達成に向けた組織的な学習指導)

---

#### ■ 1. 重点的取組(1学期)

学校と家庭で、夜9時以降は家庭学習に集中する環境づくりに取り組む

#### ■ 2. 取組指標(1学期)

家庭学習に集中するためのルール作りを生徒指導部・生活委員会とタイアップして行い、状況調査・家庭への協力依頼を学期に2回以上行う。

### V 学校・家庭・地域の協働の取組

---

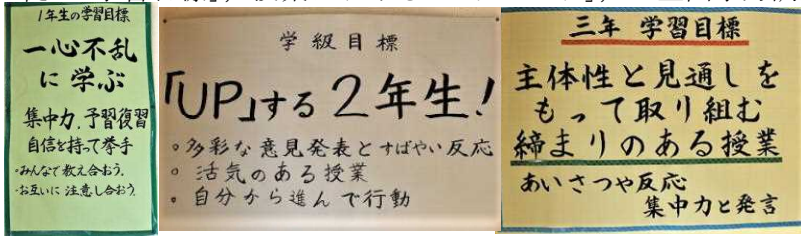
子どもの家庭学習の状況を見守るとともに、学級通信を活用しながら、学習意欲をはぐくむ声かけを行う。(月2回以上)

# 具体的な学力向上の取り組み

## I 授業改善

### ■ 1. 校内研修

生徒の「学習目標」、授業における「ふりかえり」、全国学力調査、道徳など



### ■ 2. 授業活性化旬間(互見授業) 6月10日～21日

授業観察シートに基づく授業観察と還流(交流)

### ■ 3. 研究授業

(1) 2年・数学科



(2) 2年・道徳科



## II 補充学習

### ■ 1. 朝読書・朝自習

10分間(読書・国語・数学・英語)

### ■ 2. ST(ステップ・タイム):教科担任による学習タイム

15分間(国語, 社会, 数学, 理科, 英語)

## III 家庭との協働

### ■ 1. 作文・反省文などへの講評のお願い



### ■ 2. ノーメディアの取り組み